

1. 実況上の着目点

① アムール川下流域に 500hPa 5040m 以下の寒冷渦があってゆっくり東進。この寒冷渦を回る 500hPa 5400m 付近のトラフがサハリン付近にあって、対応する低気圧がサハリン付近を北上。低気圧から寒冷前線が北日本にのびている。低気圧や前線に向かう下層暖湿気の影響で、大気の状態が非常に不安定となっており、日本海では活発に発雷して激しい雨を解析。青森県と秋田県では竜巻注意情報を発表した。

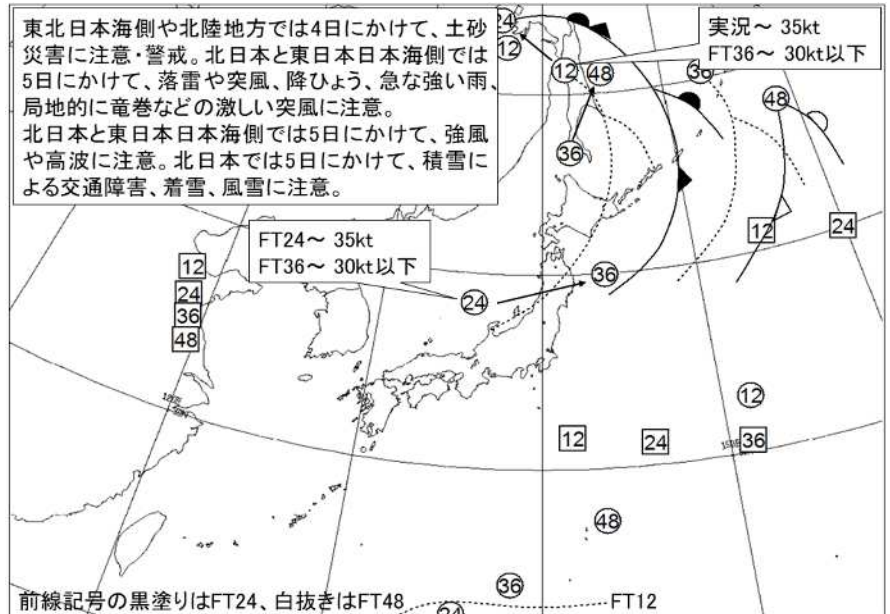
2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1 項①の寒冷渦は、4 日にかけて沿海州付近に進み、その後ほとんど停滞。1 項①の前線を伴う低気圧は、3 日は引き続きサハリン付近を北上。低気圧に伴う寒冷前線は北～東日本を通過し、3 日日中には日本の東へ抜ける。低気圧や前線に向かって下層暖湿気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定になる所があるため、3 日は北日本と東日本日本海側を中心に落雷や竜巻などの激しい突風、降ひょう、急な強い雨に注意。
- ② 2 項①の寒冷前線通過後は、北日本と東日本日本海側を中心に 5 日にかけて寒気移流場となる。また、2 項①の寒冷渦を回るトラフに対応し 3 日夜までに日本海に低気圧が発生し、4 日にかけて北日本を通過する。このため、北日本と東日本日本海側では、引き続き大気の状態が不安定となる。北日本と東日本日本海側では 5 日にかけて、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。また、東北日本海側や北陸地方では、これまでの雨で地盤が緩んでいる所があり、少ない雨量でも土砂災害の危険度が高くなるおそれがある。4 日にかけて土砂災害に注意・警戒。
- ③ 3 日日中以降は、850hPa で-6℃以下の寒気が東北北部に、-12℃以下の寒気が北海道地方に流入し、5 日にかけて続く。北日本では、5 日にかけて積雪による交通障害や着雪、風雪に注意。
- ④ 2 項①の低気圧や前線近傍と 2 項②の低気圧の近傍では、気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹いて、波が高くなる所がある。北日本や東日本日本海側では 4 日にかけて、強風や高波に注意。また、2 項①の寒冷渦に対応する低気圧が 4～5 日にはオホーツク海付近にあって、北日本は気圧の傾きが大きい状態が続く。北日本は 5 日にかけても強風や高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場は GSM を基本、量予想や降水分布は MSM や LFM も参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等] ①雨量(06 時からの 24 時間) : 多い所(100mm 以上)はない。②波浪(明日まで) : 北海道・東北・北陸・中国 3m。③高潮(明日まで) : 大潮の時期。北～東日本では注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。



主要じょう乱解説図